

足袋蔵集

【江戸時代の建物①～⑧】

①『横田酒造』文化 2 年(1805)創業の店蔵

近江商人の造り酒屋。

★清酒「日本橋」「浮城」の醸造元

①-1『日本料理はす蔵』築 200 年「横田酒造」の創業 1805 時に建設

②『小澤家の土蔵』築 200 年の土蔵 2 階建て米蔵。

③『横田家の土蔵』①天保 5 年(1834)の土蔵 2 階建て。②築 100 年の土蔵 2 階建て。③築年数は不明土蔵 2 階建て (いずれも米蔵)

④『大澤久右衛門家住宅・土蔵』江戸後期建設と思われる住宅と土蔵。江戸時代の行田町最大の豪商であった藍染の綿布問屋。★弘化 3 年(1846)の大火の際にはこの 2 棟が延焼を食い止めた。

⑤『今津蔵』嘉永年間(1848～1853)の店蔵【土蔵】

「今津印刷所」元禄年間(1688～1703)創業の店蔵・味噌蔵

★江戸後～末最古の店蔵

⑥『森家土蔵』

嘉永 3 年(1850)、明治 45 年(1912)棟上の 2 棟の土蔵造りの足袋蔵

現:私的民芸館「古蛙庵」

前者は既存の土蔵を明治時代に足袋蔵に転用したもの。

⑦『高澤家住宅』江戸後期(1666)建立の住宅主屋。・安政 6 年(1859)建立の長屋門。・江戸後期(1666)建立の土蔵。・明治 3 年(1870)頃建立の土蔵。・明治 30 年(1897)頃改築

の離れ。明治時代末期～昭和初期の当主の高澤俊徳。★幕末を中心とした豪農住宅の様相が伺える歴史的価値の高い建物群。平成 17 年第一回「浮き城のまち景観賞」受賞。現:染色と陶芸の工房ギャラリー。

⑧『川端酒造』安政 7 年(1860)創業の【店蔵】

清酒「榊川」「辛亥剣」の醸造元

【明治時代の建物⑨～⑮】

⑨蒲焼『満る岡』明治 8 年創業の老舗川魚料理店。《平成 17 年度第一回浮き城のまち景観賞を受賞》

⑩『十万石ふくさや行田本店店舗』明治 16 年(1883)の店蔵【土蔵】

「呉服商山田清兵衛商店」文政 6 年(1823)の店蔵《国登録有形文化財》

⑪『橋本足袋工場』(1913)橋本喜助は明治 19 年(1886)は酒蔵を買収し、行田で最古参の足袋製造工場を創設。

⑫『牧野本店』明治 32 年(1899)～大正期の足袋蔵工場・大正 11 年(木造洋風工場)・大正 13 年頃(店蔵、土蔵他)全盛期の足袋商店の様相を現す建物群

⑬『栗代蔵』明治 39 年(1906)の足袋蔵【土蔵】

《「栗原代八商店」1808 創業

商標:小町足袋、旗印足袋

現:足袋蔵まちづくりミュージアム》

⑭『草生蔵』明治 43 年(1910)の足袋蔵【石蔵】

《「金樂足袋株式会社」商標:金樂足袋、他。行田最古の石造り》

【大正時代の建物⑮～⑳】

⑮『保泉蔵』昭和元年(1926)の店蔵主屋(石蔵他)、明治後期と大正 5 年(1916)の【土蔵】、昭和 7 年(1932)の【石蔵】、昭和戦前期の【モルタル蔵】「保泉商店」明治 35 年創業の足袋原料倉庫群。《時代による足袋蔵の変遷が理解できる。店蔵、主屋、足袋蔵 3 棟が一行に並ぶ蔵並び短冊型》

⑯『足袋蔵ギャラリー”門”』

『クチキ建築設計事務所』大正 5 年(1916)の足袋蔵【3 階建て土蔵】

《「奥貫忠吉商店」明治 20 年の足袋蔵。商標:ほうらい足袋、栄冠足袋。現:クチキ建築設計事務所」・Café『閑居』昭和 5 年高級木造住宅

⑰『イサミスクール工場』

大正 6 年(1917)の木造洋風住宅
大正 7 年(旧事務所)

昭和 13 年足袋蔵(モルタル蔵)

「鈴木勝次郎商店」明治 40 年開設の大規模足袋工場。《商標:イサミ足袋(歌舞伎の勇み)、現:イサミコーポレーション(被服工場)》

⑱『時田蔵』

大正(足袋蔵)～昭和 15～16 年(1903)の袖蔵形式の【土蔵】

《「時田啓左衛門商店」明治 28 年創業の足袋蔵(袖蔵形式の土蔵)

商標:神武足袋、かたる足袋、桜都足袋、融和足袋》

⑳『長井写真館』大正 11 年の木造洋館《「フチイ写真館」大正時代期の店舗兼住宅》

㉑『旧忍町信用金庫』大正 12 年(1923)《元来は忍町信用組合(銀行)の店舗。現:新町自治会集会所》

⑳『大澤蔵』大正15年(1926)の住宅・土蔵【レンガ蔵】
《大澤久右衛門（江戸時代行田町最大の豪商）の江戸時代後期の建設。「足袋商」明治17年。商標:花形足袋》

㉑『奥貫蔵』大正～昭和初期の足袋蔵【土蔵】
《「奥貫忠吉商店」明治20年創業 商標:ほうらい足袋》

㉒『田代蔵』元田代鐘助商店の大正時代建設の住居と土蔵（足袋蔵）、昭和2年（1927）建設の店舗・主屋と土蔵(足袋蔵)の5棟が、短冊形の敷地に一列に並んでいる。

【昭和時代の建設①～】

① 和牛懐石『彩々亭』昭和元年7年・10年の足袋御殿「新井八郎商店」『旧新井八郎商店事務所・兼住宅・大広間棟・洋館』

② 『行田窯』昭和初期の足袋蔵
《「荒井八郎商店」の足袋原料の【木造】倉庫 商標:穂国足袋 現 陶芸工房》

③ 『イサミ足袋工場』昭和初期
《「鈴木勝次郎商店」明治40年開設の大規模足袋工場。商標:イサミ足袋(歌舞伎の勇み)現:イサミコーポレーション》

④ 『鯨井家倉庫』昭和3年(1928)建設の足袋原料倉庫。《現存する市内唯一の戦前の鉄骨コンクリート造の足袋蔵》

⑤ 『時田足袋蔵』昭和4年(1929)の足袋専用倉庫【土蔵】《「時田

啓衛門商店」明治28年(1895)創業、商標:かるた足袋、さくら都足袋》

⑥ 『忠次郎蔵』昭和4年(1929)の店蔵【土蔵】《「小川忠次郎商店」大正9年開業現:そば打ち教室「忠次郎蔵」国登録有形文化財》

⑦ パン屋『翠玉堂』昭和4年(1929)の【町屋】

《山田三之助の店舗(山田荒物店) 現:天然酵母パン屋》

⑧ 『小川源右衛門蔵』昭和7年(1932)の店蔵【石蔵】
《「小川源右衛門商店」明治17年(1884)の商品倉庫。現:カネマル酒店》

⑨ 『武蔵野銀行』昭和9年店舗 忍貯金銀行(小川建築)の建設⑭
《足袋商人(牧野鉄弥太)明治32年建設「牧野本店」 商標:力弥たび。 現:足袋とくらしの博物館》

⑩ 『牧禎舎』昭和15年(1940)の事務所兼倉庫と工場
「足袋・被服商牧禎商店」昭和15年創業 商標: 
現:NPO 法人ぎょうだ足袋蔵 藍染体験工房 牧禎舎

【昭和時代 s20-の建設⑫～】

⑫『長光寺の石蔵』昭和20年(1945)頃に建てられた。

⑬『松坂屋蔵』昭和25～26年(1950-1951)倉庫【モルタル蔵】
《「松坂建材株式会社」戦後まもなく創業》

⑭『孝子蔵』昭和26年(1951)の足袋蔵【石蔵】
《「大木末吉商店」の足袋蔵 商標:孝子足袋》

⑮『舞原蔵』昭和27年(1952)建設。舞原被服工業。戦後の行田を代表する均整のとれた石蔵

⑯『栗原家モルタル蔵』昭和28年(1953)に館林市の農家の米蔵を移築した元福力足袋有限会社のモルタル造の足袋蔵。数少ない戦後の移築転用された足袋蔵である。

⑰『小沼蔵』昭和29年(1954)の石蔵。《「株式会社豊年足袋本舗」 商標:豊年足袋、他》

⑱『村社家』不明

⑲『羽鳥家の石蔵』築約50年の石蔵2階建て。

㉑『村社家』

㉒その他

【平成時代の建設①】

①『秋山蔵』2012年から参加いただいている秋山蔵。小さくてかわいらしい蔵です。
商標:かねまつ足袋

(42)『青柳スクールメイト』店蔵、土蔵が(1871)立ち並ぶ。十万石(ふくさや)の店舗から国道125号線を挟んで向かい側にある。塀は赤煉瓦を使ったイギリス積み。塀の奥には土蔵(足袋蔵)が見える。行田市の地場産業だった足袋製造。かつては青柳スクールメイトも製造業者だった。